

一年のあゆみ

—— 令和7年度年報 ——

ANNUAL REPORT 2025

令和8年7月

公益財団法人 三井住友海上福祉財団

Mitsui Sumitomo Insurance Welfare Foundation

SINCE 1975

ご あ い さ つ



当財団は、昭和50年に事業を開始して以来、損害保険事業に関係の深い交通事故や各種災害に関する分野で、援護事業・研究助成・普及啓発・施設助成などを行ってまいりました。

その後、平成3年からは社会の高齢化に対応して、高齢者福祉の分野にも事業領域を拡げてまいりました。この「交通事故・各種災害の防止等」と「高齢者福祉」の両分野における事業が当財団の大きな柱となっております。

平成14年には「三井住友海上福祉財団賞」を創設し、両分野における優れた著作や論文に対して、毎年表彰を行っております。また、平成19年には、新たに海外の研究者を対象にした研究助成も開始するなど、時代のニーズに応えた事業を展開してまいりました。

研究助成を受けられた方々の成果につきましては、「研究結果報告書集」として冊子にまとめ、関係各方面に配布するとともに、当財団 web サイトにも掲載し、広く社会のお役に立てるよう公開しております。

当財団の助成活動の主体である研究助成につきましては、安全な交通社会や安心で豊かな高齢社会の形成に貢献するために、社会的意義や実用性の高い研究を選定するよう努めております。なかでも、研究が萌芽的であったり、若手研究者であるが故に公的助成等他の援助が得にくい研究、またテーマ設定や研究方法に独創性のある研究などに重点を置き助成しております。

さて、警察庁が保有する統計によると、令和7年の交通事故による死者数は2,547人となり、前年より△116人・比率で4.4%減少に転じました。しかし、そのうち高齢者（65歳以上）の交通事故死者数では1,423人であり、全体に占める割合は55.9%と非常に高い割合を占めています。

また、令和7年10月1日現在におけるわが国の高齢者人口（65歳以上）は3,622万人で、総人口の29.4%を占めており、高齢化率は欧米諸国と比較して極めて高い水準となっています。

これらを鑑みると、当財団が取組んでおります「交通事故・各種災害の防止等」と「高齢者福祉」の両分野での助成事業は、大きな社会的意義を持ち、その重要性はさらに高まるものと思っております。当財団は、この二つの分野において、微力ながらも特色ある助成を国内外で行い、今後も社会に貢献出来るよう努力して参りたいと存じます。

当財団の活動に、皆さまのご理解を賜るとともに、ご支援とご鞭撻をお願い申し上げます。

令和8年7月

公益財団法人 三井住友海上福祉財団
理事長 柄澤 康喜

目 的 と 事 業

目 的 当財団は、交通安全又は各種災害及び高齢者の福祉に関する研究、施設又は事業に対する援助を行い、以って社会の福祉と繁栄に貢献することを目的とする。

事 業 当財団は、この目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 交通事故又は各種災害の防止、被害軽減及び医療に関する研究への助成
- (2) 交通事故又は各種災害の防止、被害軽減及び医療に関する施設、事業並びに普及、啓発活動への助成
- (3) 高齢者の福祉に関する研究への助成
- (4) 高齢者の福祉に関する施設、事業並びに普及、啓発活動への助成
- (5) その他、当財団の目的を達成するために必要な事業

目 次

I. 令和7年度 事業報告	P 1
1. 概要	P 1
2. 事業実績	P 1
(1) 交通事故・各種災害の防止等分野	
(2) 高齢者福祉分野	
(3) 事業費合計（交通事故・各種災害の防止等分野＋高齢者福祉分野）	
3. 当年度の主な事業	P 2
(1) 研究助成	
(2) 三井住友海上福祉財団賞　－著作・論文表彰－	
(3) 設立50周年記念特別賞　－研究成果に対する表彰－	
(4) 普及・啓発助成	
4. 設立50周年記念式典および研究助成・財団賞等の贈呈式開催	P 7
5. トピックス	P10
6. 令和7年度 助成先一覧	P11
(1) 交通事故・各種災害の防止等分野	①研究助成
	②設立50周年記念特別賞表彰
	③著作・論文表彰
	④普及・啓発助成
(2) 高齢者福祉分野	①研究助成
	②設立50周年記念特別賞表彰
	③著作・論文表彰
II. 理事会・評議員会	P15
1. 理事会	
2. 評議員会	
III. 令和7年度 会計報告（要旨）	P16
IV. 理事・監事・評議員	P17
<u>資 料</u>	
I. 「公益財団法人 三井住友海上福祉財団」の概要	P18
II. 助成実績の推移（昭和50年度～令和7年度）	P19

I

令和7年度 事業報告

自：令和7年4月1日

至：令和8年3月31日

1. 概 要

「交通事故・各種災害の防止等」と「高齢者福祉」の2分野で助成事業を実施した。当財団は令和7年度に設立50周年を迎えたことから、定例の研究助成、著作・論文表彰に加えて、設立50周年記念特別賞を設け、過去に当財団が助成した研究を大きく発展させた研究者を表彰した。

上記特別賞を含む助成金総額は、交通事故・各種災害の防止等分野の2,260万円、高齢者福祉分野の3,855万円の合計で6,115万円となった。これは前年比1割強の増加であり、公益に寄与する事業を着実に進展させることができた。

当財団の収入の柱は、三井住友海上火災保険株式会社からの寄付金と、保有する有価証券（MS & AD インシュアランスグループホールディングス株式、上場株式投資信託、国債等）の配当や利息であるが、令和7年度も、当財団の従来からの事業規模を維持・拡大できるだけの収入を確保することができた。

なお、当財団の昭和50年発足以来の助成金の累計金額は27億811万円、累計件数は2,428件となっている。

2. 事業実績

当年度の事業分野別、事業種類別の助成件数、助成金額は次のとおり。

(1) 交通事故・各種災害の防止等分野

	助成件数	助成金額(万円)
研 究	20	(※)1,907
著作・論文表彰	2	60
50周年記念特別賞	2	200
普及・啓発	4	93
助成計	28	2,260

(2) 高齢者福祉分野

	助成件数	助成金額(万円)
研 究	23	3,575
著作・論文表彰	2	80
50周年記念特別賞	2	200
助成計	27	3,855

(3) 事業費合計（交通事故・各種災害の防止等分野＋高齢者福祉分野）

	助成件数	助成金額(万円)
研 究	43	5,482
著作・論文表彰	4	140
50周年記念特別賞	4	400
普及・啓発	4	93
助成計	55	6,115
付帯費計		1,319
事業費合計(助成金＋付帯費)		7,434

(※)交通事故・各種災害の防止等分野における研究助成金額では、台湾の研究助成における明台産物負担分（100万円）を除いた金額で表示している。

3. 当年度の主な事業

当年度における助成内容・助成先および助成金額は別紙「6. 令和7年度助成先一覧」のとおり。

(1) 研究助成

当財団の助成事業の中心は研究助成であるが、当年度についても合計43件、総額5,482万円の研究助成を行った。これは、助成金総額の89.6%を占めている。

① 国内研究助成

a. 応募と決定の件数

研究助成の応募件数、申請額ならびに決定件数、決定金額は次のとおり。

	応募件数	申請額(万円)	決定件数	決定金額(万円)
交通事故・各種災害の防止等分野	27	4,637	12	1,313
高齢者福祉分野	129	22,403	23	3,575
合 計	156	27,040	35	4,888

b. 募集、選考および決定の状況

募集は令和7年4月1日から6月30日の期間に行った。その際、できるだけ多数の応募を促すよう応募要項を当財団 web サイトに掲載した他、助成財団センターの助成金募集ニュース『助成・奨学情報 navi』や大学病院情報ネットワーク（略称 UMIN）のホームページなど、多くの媒体に掲載して周知に努めた結果、応募件数合計は156件となった。

交通事故・各種災害の防止等分野では選考委員会を9月11日に開催し12件を、また高齢者福祉分野では選考委員会を10月2日に開催し23件をそれぞれ選定した。その後、選考結果を10月24日開催の第158回理事会で諮り、上記のとおり助成を決定した。当年度も幅広いテーマから水準の高い研究を選ぶことができた。

また、決定した助成対象者とテーマを当財団 web サイトで公開した。

選考委員

交通事故・	高田 邦道（委員長）	日本大学名誉教授 交通工学
各種災害の	太田 博雄	東北工業大学名誉教授 交通心理学
防止等分野	小川 武希	東京慈恵会医科大学名誉教授 救急医学
	鈴木 春男	千葉大学名誉教授 交通社会学
	関根 太郎	日本大学理工学部教授 自動車工学
高齢者福祉	大内 尉義（委員長）	虎の門病院名誉院長 老年医学
分野	秋下 雅弘	東京都健康長寿医療センター理事長 老年医学
	岩本 俊彦	東京医科大学名誉教授 老年医学
	大泉 博子	元衆議院議員、元国際医療福祉大学客員教授 ソーシャルサービス
	児玉 桂子	日本社会事業大学名誉教授 福祉生活環境学
	島崎 謙治	国際医療福祉大学大学院教授 社会保障法・医療政策
*役職は、令和8年3月31日時点で記載		

c. 研究結果の開示

令和5年度に助成した研究を中心に、合計39件の研究結果を収録した「研究結果報告書集第29巻」を7月に刊行し、研究者および関係先に配布したほか、同書の内容を当財団 web サイトにも掲載した。令和6年度に助成した研究については、研究結果報告書が提出された都度、逐一財団 web サイトに掲載している。

② 海外研究助成

海外研究助成は平成20年度に三井住友海上アジア持株会社（当時）、平成30年度に明台産物保険社の協業を得て開始した。現在もタイと台湾において交通事故・各種災害の防止等分野の研究助成事業を行っている。

国内に準じた方法で現地で募集・選考を行い（かつ、国内選考委員会でも確認・追認）、両国・地域の合計で8件、総額694万円（※）の研究助成を行った。

国・地域	台湾	タイ
委託運営先	明台産物保险股份有限公司	三井住友海上火災保険(株) タイ支店
協力団体	財団法人保険事業発展中心	タイ運輸省安全企画局
現地選考委員	羅孝賢 博士 淡江大学運輸管理学系 教授	Dr.Chatchawal Simaskul Plan and Policy Analyst, Professional level Office of Transport and Traffic Policy and Planning, Ministry of Transport

（※）助成金総額のうち100万円は明台産物が支出。当財団の支出金額は594万円である。

(2) 三井住友海上福祉財団賞 - 著作・論文表彰 -

交通事故・各種災害の防止等と高齢者福祉の分野での優れた著作・論文を表彰する三井住友海上福祉財団賞の募集を行い、2分野合計で27件の応募があった。

- ① 対象期間：令和5年4月から令和7年3月の2年間に発表された著作・論文
- ② 応募期間：令和7年4月1日から6月30日まで

前記の研究助成と同様に厳正なる選考を行った結果、高齢者福祉分野の1点（論文）が財団賞と

して選考された。また、交通事故・各種災害の防止等分野の2点（著作1点・論文1点）と高齢者福祉分野の1点（論文）の計3点が財団奨励賞として選考された。選考結果を10月24日開催の第158回理事会に諮り、各賞の贈呈を決定した（財団賞副賞：1点につき50万円、財団奨励賞副賞：1点につき30万円）。

【交通事故・各種災害の防止等分野】

＜財団賞＞ 該当者なし

＜財団奨励賞＞

○受賞者：岡本 正

銀座パートナーズ法律事務所 代表弁護士

著 作：災害復興法学Ⅲ

○受賞者：山口 徹雄

虎の門病院循環器センター内科 医長

論 文：Impact of a national initiative to provide civilian cardiopulmonary resuscitation training courses on the rates of bystander intervention by citizens and survival after out-of-hospital cardiac arrest.

市民に対する心肺蘇生訓練を提供する全国的な取り組みが、市民による心肺蘇生行為実施率および院外心停止後の生存率に及ぼす影響について

【高齢者福祉分野】

＜財団賞＞

○受賞者：田中 友規

東京大学未来ビジョン研究センター 高齢社会総合研究機構 特任講師

論 文：日本版リスクスケールを用いた抗コリン負荷量と地域在住高齢者のフレイル・サルコペニア発症との関連：柏コホート研究

＜財団奨励賞＞

○受賞者：辻 大士

筑波大学体育系 助教

論 文：Community-level groupsports participation and all-cause, cardiovascular disease, and cancer mortality: a 7-year longitudinal study

地域レベルの運動・スポーツグループ参加割合と全死因・循環器疾患・がん死亡：7年間の縦断研究

(3) 設立50周年記念特別賞 ―研究成果に対する表彰―

令和7年9月1日に設立50周年を迎えたことを記念し、設立50周年記念特別賞の表彰をあわせて行った。本件は、前回の設立40周年記念特別賞の対象期間以降の10年間に、当財団から国内研究助成を受けた研究者の中から、その研究をさらに発展させて特に顕著な成果を上げた研究者を表彰するものである。対象者279名に対して募集した結果、51名の方から応募があった。

① 対象期間：平成25年度から令和4年度の10年間に当財団から助成された研究

② 応募期間：令和7年2月1日から4月30日まで

研究助成や財団賞と同じく選考委員会による厳正な審査を行った結果、交通事故・各種災害の防止等分野で2名、高齢者福祉分野で2名への表彰を選考した。また、選考結果を令和7年10月24日開催の理事会に諮り、本賞の贈呈を決定した。

【交通事故・各種災害の防止等分野】

○受賞者：亀崎 允啓

東京大学大学院工学系研究科 電気系工学専攻 特任教授

助成研究：2020年度『ドライバー・コンピテンシー・アセスメント・システム（D－CAS）の実現に向けて：ドライバーの状況認識推定システムの開発』

○受賞者：井上 昌善

愛媛大学教育学部 准教授

助成研究：2019年度『地域の安全を担う市民育成を目指す教育プログラムの開発―「警ら箱」の教材化を事例として―』

【高齢者福祉分野】

○受賞者：吉村 典子

東京大学医学部附属病院 22世紀医療センターロコモ予防学講座 特任教授

助成研究：2016年度『長期観察高齢者住民コホートをを用いたフレイルとロコモの実態と予防に関する研究』

○受賞者：陳 三妹

広島大学大学院医系科学研究科 健康創成推進分野 准教授

助成研究：2015年度『地域在住高齢者における認知機能障害と身体的フレイルの交互作用が要介護認定に与える影響についての検討：4年間の追跡研究』

2021年度『地域在住高齢者における認知的フレイルと介護給付費および医療との関連：8年間の前向き研究』

(4) 普及・啓発助成

当年度も交通事故・各種災害の防止等分野において、内閣府が主催する春・秋の全国交通安全運動に協賛して同運動用のポスター費用等を寄贈したほか、交通安全フォーラム開催への協賛や警察庁が主催する交通安全ファミリー作文コンクールにも協賛し、合計4件に対して総額93万円を助成した。

「つける」「見つける」
反射材とライトで安全確保

秋の全国交通安全運動
9月30日は「交通事故死ゼロを目指す日」
【運動期間】令和7年9月21日～9月30日

内閣府・(公財)三井住友海上福祉財団
令和7年秋の全国交通安全運動ポスター

交通ルールを守って
交通事故ゼロへ!
春の全国交通安全運動
令和8年4月6日～4月15日
4月10日は「交通事故死ゼロを目指す日」です

内閣府・(公財)三井住友海上福祉財団
令和8年春の全国交通安全運動ポスター

交通安全フォーラム
同時開催
富山県交通安全県民大会
令和7年 9月3日
富山県民会館ホール
富山市新総曲輪4番18号

交通安全家族年功賞表彰
交通安全家族年功賞表彰
交通安全家族年功賞表彰

令和7年度交通安全フォーラムポスター

交通安全
ファミリー作文コンクール
令和7年度
7月4日～9月12日
交通安全ファミリー作文コンクール実行委員会

賞	受賞者数	最優秀賞	優秀賞	佳作
表彰区分	内閣府大臣賞 警察庁長官賞	富山県知事賞 富山県交通安全委員会賞	富山県知事賞 富山県交通安全委員会賞	警察庁交通安全局長賞
小学生の部	1点	各学年1点以内	1点以内	各学年3点以内
中学生の部	1点	各学年1点以内	1点以内	各学年3点以内

交通安全ファミリー作文コンクールポスター

4. 設立50周年記念式典および研究助成・財団賞等の贈呈式開催

令和7年11月28日に設立50周年記念式典を兼ねた国内研究助成・財団賞贈呈式を六本木・住友会館において開催した。

柄澤理事長と来賓（内閣府大臣官房審議官（共生・共助担当）南順子様）の挨拶のあと、各賞の受賞者・研究助成対象者の紹介と賞・目録の贈呈を行った。その後、設立50周年記念特別賞と財団賞の受賞者5名による記念講演が行われた。

なお、設立50周年を記念したイベントとして、式典の冒頭にはハープ奏者（吉野直子様・三井住友海上文化財団の提携アーティスト）によるクラシック演奏が行われた。

海外研究助成の贈呈式は令和7年12月11日に台湾の台北で、令和8年1月22日にタイのバンコクでそれぞれ開催され、令和7年度助成対象研究者へ目録を贈呈した。

あわせて令和6年度助成対象の研究者から、それぞれ研究成果が発表された。



柄澤理事長挨拶



来賓代表ご挨拶
内閣府大臣官房審議官（共生・共助担当）南様



吉野様（ハープ奏者）

【吉野様プロフィール】

ロンドン生まれ。1985年イスラエル国際ハープ・コンクールに17歳で優勝。世界各地でリサイタルを行うとともに、ベルリン・フィル、イスラエル・フィル、アーノンクール、小澤征爾、クレメルなど、国内外の主要オーケストラ、指揮者、ソリストと数多く共演。2016年自主レーベルによるCD制作を開始。国際基督教大学卒業。東京藝大客員教授

【記念式典演奏曲目】

- ・C. ドビュッシー（H. ルニエ編）：アラベスク第1番
- ・M. グランジャニー：コロラド・トレイル
- ・C. ドビュッシー：亜麻色の髪の乙女
- ・M. トゥルニエ：朝に

< 記念講演の様子（設立 50 周年記念特別賞・財団賞受賞者） >



亀崎様 設立 50 周年記念特別賞受賞
(交通事故・各種災害の防止等分野)



井上様 設立 50 周年記念特別賞受賞
(交通事故・各種災害の防止等分野)



吉村様 設立 50 周年記念特別賞受賞
(高齢者福祉分野)



陳様 設立 50 周年記念特別賞受賞
(高齢者福祉分野)



田中様 財団賞受賞
(高齢者福祉分野)

<財団奨励賞贈呈の様子>



岡本様 財団奨励賞受賞
(交通事故・各種災害の防止等分野)



山口様 財団奨励賞受賞
(交通事故・各種災害の防止等分野)



辻様 財団奨励賞受賞
(高齢者福祉分野)

<研究助成目録贈呈の様子>



研究助成の目録贈呈
(交通事故・各種災害の防止等分野)



研究助成の目録贈呈
(高齢者福祉分野)

<海外研究助成贈呈式の様子>



台湾の研究助成贈呈式



タイの研究助成贈呈式

5. トピックス

当財団から研究助成を受けた奥村正樹様（東北大学准教授）の新たな発見が Nature Cell Biology（2025年11月）に掲載されました。

小胞体内に存在する PDIA 6 が相分離した区画を形成し、その中で成熟インスリンの効率的な生産に不可欠な役割を果たしていることを見出しました。

これは小胞体内が一様の環境と考えられてきた既存概念に対し、小胞体内の区画化という概念変革を与えるものであり、糖尿病、ALS、アルツハイマー症などに対峙する革新的治療法開発が期待されることから世界的に注目を集めました。

代表研究者：奥村正樹様

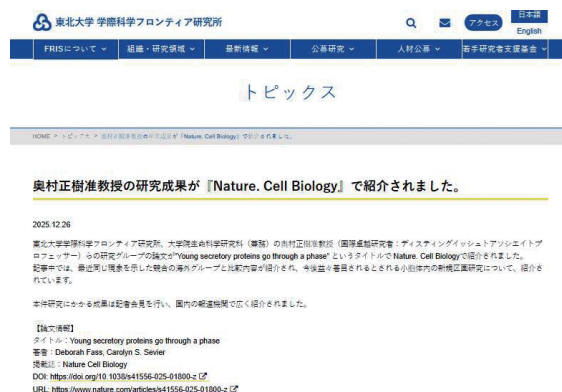
東北大学学際科学フロンティア研究所
大学院生命科学研究所 准教授

掲載論文：

“Young secretory proteins go through a phase”

当財団からの研究助成実績：

令和5年度（2023年度）
高齢者福祉分野



東北大学学際科学
フロンティア研究所 HP



6. 令和7年度助成先一覧

(1) 交通事故・各種災害の防止等分野

① 研究助成

a. 国内

No.	研究代表者		研究課題	助成金額 (万円)
1	山梨大学 工学域機械工学系 准教授	秋月 拓磨	単一慣性センサおよび深層学習を用いた不安全 運転行動検出手法の開発	80
2	東京理科大学 創域理工学部 社会基盤工学科 助教	味戸 正徳	物流車両による生活道路走行と交通安全意識の 関係性に関する実証研究	100
3	東京電機大学 システムデザイン工学部 情報システム工学科 教授	荒川 俊也	生成 AI とドライブレコーダ映像を用いた個人 適合型運転アドバイスシステムの開発とシミュ レータを用いた運転行動変容効果の検証	150
4	国立循環器病研究センター メディカルゲノムセンター 研究部長	大野 聖子	心臓突然死症候群による交通事故防止を目指し た遺伝的要因によるリスク分類	150
5	東京工科大学 応用生物学部 助教	木村 将大	交通事故で頻発する脊髄損傷への早期に投与可 能なラクトフェリン製剤の開発	150
6	東京リハビリテーション病院 主任作業療法士 東京都立大学大学院 人間健康科学研究科 作業療法科学域 博士前期課程	坂 直樹	脳卒中者の運転行動に関するメタ認知の概念抽 出：尺度開発に向けたインタビュー調査	23
7	東海大学 建築都市学部 准教授	鈴木 美緒	路面状況や交通環境が電動キックボード利用者 の視認挙動に及ぼす影響	100
8	茨城大学学術研究院 応用理工学野 機械システム工学領域 講師	関根 栄子	災害時の物流維持と電力安定化を目的とした EV・PV 連携活用と人口流動特性に基づく地 域最適化	150
9	九州大学大学院医学研究院 人工関節生体材料学講座 准教授	濱井 敏	Driving simulator による人工股関節・膝関節 置換術後の運転能力解析に関する研究	80
10	大分大学理工学部理工学科 地域環境科学プログラム 准教授	三村 泰広	高齢運転者の補償運転行動発現のメカニズムに 関する基礎的研究	130
11	宮崎大学教育学部 准教授	山口 尚哉	災害発生時における学習拠点への安全な移動の 実現：AI を用いた防災教育 VR システムの開 発及び VR を用いた移動訓練	100
12	金沢大学 医薬保健研究域保健学系 教授	米田 貢	高齢者の運転注意力を予測する脳機能評価モデ ルの開発と社会実装に向けた検証	100

b. 海外

No.	研究代表者		研究課題	助成金額 (万円)
13	Associate Professor ASEAN Institute for Health Development, Mahidol University	Cheerawit Rattanapan	Coping strategies of road safety from heat exposure for food delivery riders in Bangkok capital city of Thailand (タイのバンコク首都圏におけるフード デリバリーライダーの熱中症 からの道 路安全対策)	THB 150,000 (約 74 万円)
14	Researcher Suranaree University of Technology	Chinnakrit Banyong	Enhancing School Zone Safety through Low Cost Speed Reduction Measures and XGBoost-Based Risk Analysis (低コスト速度低減対策と XGBoost ベー スのリスク分析によるスクールゾーン の安全性強化)	THB 150,000 (約 74 万円)
15	Ph.D. Candidate Suranaree University of Technology	Sonita Sum	A hybrid RF-CNN model for injury severity prediction in singlemotorcycle crashes in Thailand (タイにおけるオートバイ事故の負傷重 症度予測のためのハイブリッド RF-CNN モデル)	THB 132,000 (約 65 万円)

No.	研究代表者		研究課題	助成金額 (万円)
16	Associate Professor School of Engineering and Technology, and Center of Excellence in Sustainable Disaster Management, Walailak University	Thanongsak IMJAI	Forgiving Roadside Barriers from Rubberised Recycled Concrete for Enhanced Safety at Sharp Curves in Rural Roads (郊外道路の急カーブでの安全性向上の ためのゴム引きリサイクルコンクリー ト製の許容可能な路側帯の防壁)	THB 150,000 (約 74 万円)
17	PhD student of the fifth year Department of Transportation and Communication Management Science, National Cheng Kung University	Che-Yu Chang	Pedestrian-Safety-Oriented Intelligent Signal Control: Applying Reinforcement Learning to Two-Stage Crossing and Traffic Flow Management (歩行者安全重視の知能信号制御：強化 学習を用いた二段階横断および交通流 管理への応用)	TWD 200,000 (約 102 万円)
18	Department of Electrical Engineering National Chung Hsing University Professor	Ching-Ming Lai	AI-Assisted Anti-Pinch Protection System for Public Bus Doors (公共バス用 AI アシスト挟み込み防止 システム)	TWD 200,000 (約 102 万円)
19	Professor Department of Risk Management and Insurance, Feng Chia University	Wen-Yen Hsu	Pricing of Taxi-Specific Liability Insurance in Taiwan (台湾におけるタクシー専用賠償責任保 険の価格設定)	TWD 200,000 (約 102 万円)
20	Associate Professor Bachelor Degree Program in Ocean Tourism Management, National Taiwan Ocean University	Yu-Kai Huang	The Chaotic Boundary of Smart Intersections: Analyzing the Unforeseen Risk Dynamics of Mixed Traffic Flow with Human Drivers and Autonomous Vehicles (スマート交差点の混乱の境界：人間ド ライバーと自動運転車が混在する交通 の流れの予期せぬリスクダイナミクス の分析)	TWD 200,000 (約 102 万円)

研究助成 小計 20件 2,007万円
(内 明台産物社負担100万円)

② 設立 50 周年記念特別賞表彰

受賞者		助成対象研究	副賞 (万円)
東京大学大学院工学系研究科電気 系工学専攻 特任教授	亀崎 允啓	【2020 年度助成】 『ドライバー・コンピテンシー・アセスメント・ システム (D-CAS) の実現に向けて：ド ライバーの状況認識推定システムの開発』	100
愛媛大学教育学部 准教授	井上 昌善	【2019 年度助成】 『地域の安全を担う市民育成を目指す教育プ ログラムの開発－「警ら箱」の教材化を事例 として』	100

設立50周年記念特別賞 小計 2件 200万円

③ 著作・論文表彰

著者		題名	副賞 (万円)
銀座パートナーズ法律事務所 代表弁護士・気象予報士・博士 (法 学)	岡本 正	【著作・財団奨励賞】 『災害復興法学Ⅲ』	30
虎の門病院 循環器センター内科 医長	山口 徹雄	【論文・財団奨励賞】 Impact of national initiative to provide civilian cardiopulmonary resuscitation training courses on the rates of bystander intervention by citizens and survival after out-of-hospital cardiac arrest. 市民に対する心肺蘇生訓練を提供する全国的 な取り組みが、市民による心肺蘇生行為実施 率および院外心停止後の生存率に及ぼす影響 について	30

著作・論文表彰 小計 2件 60万円

④ 普及・啓発助成

No.	助 成 先	助成内容	助成金額 (万円)
1	(一財) 日本交通安全教育普及協会	「交通安全ファミリー作文コンクール」募集ポスター作成費用等(副賞を含む)	58
2	内閣府(共生・共助担当)	「秋の全国交通安全運動」ポスター作成配布費用	5
3	交通安全フォーラム推進協議会	「交通安全フォーラム」協賛	25
4	内閣府(共生・共助担当)	「春の全国交通安全運動」ポスター作成配布費用	5

普及・啓発助成 小計 4件 93万円
交通事故・各種災害の防止等分野 合計 28件 2,360万円
 (内 明台産物社負担100万円)

(2) 高齢者福祉分野

① 研究助成

No.	研究代表者		研究課題	助成金額 (万円)
1	東邦大学理学部 生物分子科学科 准教授	上田(石原) 奈津実	高齢期の認知機能低下に対する神経細胞内のオルガネラ操作の基盤的研究	180
2	九州医療科学大学 臨床心理学部臨床心理学 講師	伊藤 さゆり	高齢者らの認知症早期発見を目指す評価法開発: 日本手話の特性に配慮した認知機能スクリーニング検査の確立	160
3	東京大学大学院医学系研究科 難治性骨疾患治療開発講座 特任准教授 東京大学医学部附属病院 骨粗鬆症センター 副センター長	伊東 伸朗	骨粗鬆症センター外来受診症例における二次性骨粗鬆症、骨粗鬆症類縁疾患の頻度	160
4	北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野 予防歯科学教室 教授	岩崎 正則	高齢期の口腔機能がウェルビーイングに及ぼす影響の解明: アジア人大規模データベースと機械学習を用いた検討	165
5	九州大学生体防御医学研究所 細胞不均一性学分野 教授	上住 聡芳	間葉系間質細胞の筋維持特性獲得に必要な転写因子の機能解析を通じたサルコペニアのメカニズム解明	180
6	東北大学大学院医学系研究科 臨床障害学分野 教授	海老原 覚	味覚想起訓練による加齢性食欲不振・サルコペニアの克服	180
7	聖路加国際大学大学院 看護学研究科 教授	奥 裕美	急性期病院に入院する高齢患者の QOL 向上に向けた移動ケア基準の開発と初期実装 — 1 病院を対象としたプレリミナリースタディ	95
8	広島大学 原爆放射線医科学研究所 教授	神沼 修	全身性味覚受容体が加齢性変化に及ぼす影響	140
9	筑波大学医学医療系 血液内科学 教授	坂田(柳元) 麻実子	クローン性造血の健康に及ぼす影響とその介入方法に関する研究開発	180
10	東京医科大学医学部 薬理学分野 准教授	鈴木 宏昌	TDP-43 異常を基軸とする認知症病態の分子修復とトランスレーショナル創薬への展開	160
11	国際医療福祉大学医学部 糖尿病・代謝・内分泌内科学 教授(代表)	竹本 稔	高齢者のうつ病とサルコペニアをつなぐ新規マイオカイン R3hdm1 の役割解明と治療応用の探索的研究	90
12	静岡社会健康医学大学院大学 社会健康医学研究科 教授	田原 康玄	高齢者の低栄養・フレイルに対するオーラルサルコペニア意義解明	160
13	大阪公立大学大学院 医学研究科 脳神経内科学 講師	長谷川 樹	眼底検査による MCI・早期アルツハイマー病の診断と、抗アミロイド抗体療法のリスク評価	180
14	新潟大学医歯学総合病院 義歯診療科 講師	長谷川 陽子	インターバル速歩による高齢者の健康寿命延伸と口腔機能改善の実証研究	140

No.	研究代表者		研究課題	助成金額 (万円)
15	医療法人ライフサポート わたらせリバーサイドクリニック 理事長	平林 久幸	高齢の支援困難事例に対し人工知能で課題解決を促進する研究	155
16	京都大学大学院医学研究科 リウマチ性疾患先進医療学講座 特定病院助教	藤井 貴之	老化細胞を標的とした新たな骨関節疾患治療法の開発	180
17	広島大学大学院 先進理工系科学研究科 准教授	布施 正暁	高齢者福祉を支える「小さな拠点」の評価と形成	160
18	愛知医科大学 栄養治療支援センター 教授（特任）	前田 圭介	生体インピーダンスベクトル解析の本邦リファレンス情報創出と妥当性検証	140
19	東京大学医学部附属病院 腎臓・内分泌内科 特任講師	三村 維真理	加齢に伴うクローン造血が腎障害に寄与する分子メカニズムの解明	160
20	三重大学大学院医学系研究科 リハビリテーション医学分野 教授	百崎 良	高齢入院患者における入院関連嚥下障害発症のインパクト評価・発症予測モデルの構築	90
21	東京都健康長寿医療センター研 究所 研究員	山下 真里	若年性認知症者の生活再構築を支える実践モデルの開発：「支援の知」の体系化	160
22	大阪大学大学院医学系研究科 腎臓内科学 特任助教（常勤）	山本 毅士	腎老化に対抗する MondoA とオートファジーの協調的な代謝調節機構の解明	180
23	同志社大学生命医科学部 医生命システム学科 遺伝情報研究室 准教授	和久 剛	高齢者特有のアミノ酸欠乏が誘導する免疫抑制性がん細胞老化機構の解明	180

研究助成 小計 23件 3,575万円

② 設立50周年記念特別賞表彰

受賞者		助成対象研究	副賞 (万円)
東京大学医学部附属病院 22 世紀医療センター ロコモ予防学講座 特任教授	吉村 典子	【2016 年度助成】 『長期観察高齢者住民コホートをを用いたフレイルとロコモの実態と予防に関する研究』	100
広島大学大学院医系科学研究科 健康創成推進分野 准教授	陳 三妹	【2015 年度助成】 『地域在住高齢者における認知機能障害と身体的フレイルの交互作用が要介護認定に与える影響についての検討：4 年間の追跡研究』 【2021 年度助成】 『地域在住高齢者における認知的フレイルと介護給付費および医療費との関連：8 年間の前向き研究』	100

設立50周年記念特別賞 小計 2件 200万円

③ 著作・論文表彰

著者	題名	副賞 (万円)
東京大学未来ビジョン研究センター 高齢社会総合研究機構 特任講師	田中 友規 【論文・財団賞】 日本版リスクスケールを用いた抗コリン負荷量と地域在住高齢者のフレイル・サルコペニア発症との関連：柏コホート研究	50
筑波大学体育系 助教	辻 大士 【論文・財団奨励賞】 Community-level group sports participation and all-cause, cardiovascular disease, and cancer mortality: a 7-year longitudinal study 地域レベルの運動・スポーツグループ参加割合と全死因・循環器疾患・がん死亡：7 年間の縦断研究	30

著作・論文表彰 小計 2件 80万円

高齢者福祉分野 合計 27件 3,855万円

2 分野合計 55件 6,215万円

(内 明台産物社負担100万円)

Ⅱ

理事会・評議員会

1. 理事会

- 第157回理事会 令和7年6月2日開催
 - 第1号議案 令和6年度事業報告および決算、並びに行政庁への定期提出書類承認の件
 - 第2号議案 第27回評議員会（定時）の招集承認の件
 - 第3号議案 理事全員の改選に伴う理事長選任承認の件
 - 第4号議案 理事全員の改選に伴う専務理事選任および事務局長委嘱承認の件

- 第158回理事会 令和7年10月24日開催
 - 第1号議案 令和7年度研究助成事業承認の件
 - 第2号議案 令和7年度財団賞・財団奨励賞贈呈承認の件
 - 第3号議案 設立50周年記念特別賞贈呈承認の件
 - 第4号議案 令和8年度国内研究助成の「特別助成」新設承認の件
 - 第5号議案 役員賠償責任保険（D&O 保険）更改承認の件
 - 第6号議案 第28回評議員会（臨時）の招集承認の件

- 第159回理事会 令和8年3月10日開催
 - 第1号議案 令和8年度事業計画および令和8年度予算承認の件

2. 評議員会

- 第27回評議員会 令和7年6月23日開催
 - 第1号議案 令和6年度事業報告および決算承認の件
 - 第2号議案 任期満了に伴う理事改選承認の件
 - 第3号議案 任期満了に伴う監事改選承認の件
 - 第4号議案 任期満了に伴う評議員改選承認の件

- 第28回評議員会 令和8年3月10日開催
 - 第1号議案 評議員選任の件
 - 第2号議案 常勤理事の令和8年度報酬承認の件



令和 7 年度 会計報告（要旨）

1. 貸借対照表(令和8.3.31 現在)

(単位：千円)

科 目	金 額
【資産の部】	
流動資産	40,387
固定資産	2,356,042
（基本財産）	(2,304,237)
（特定資産）	(51,805)
資産合計	2,396,430
【負債の部】	
流動負債	130
【正味財産の部】	
指定正味財産	2,289,199
（うち基本財産）	(2,237,394)
（うち特定資産）	(51,805)
一般正味財産	107,101
（うち基本財産への充当額）	(66,843)
負債及び正味財産合計	2,396,430

2. 正味財産増減計算書（令和7.4.1～令和8.3.31）

(単位：千円)

科 目	金 額	対前年増減
I 一般正味財産増減の部		
1. 経常増減の部		
(1) 経常収益		
基本財産運用益	53,692	8,332
特定資産運用益	134	90
受取寄付金	10,550	100
受取寄付金振替額	32,798	5,711
雑収益	78	61
経常収益計	97,253	14,294
(2) 経常費用		
事業費	74,336	9,079
管理費	16,568	2,394
経常費用計	90,904	11,473
基本財産評価損益	7,503	5,651
当期経常増減額	13,852	8,472
2. 経常外増減の部		
(1) 経常外収益		
雑収益	729	127
経常外収益計	729	127
当期経常外増減額	729	127
当期一般正味財産増減額	14,581	8,599
II 指定正味財産増減の部		
受取寄付金	31,350	0
基本財産評価損益	293,489	221,067
一般正味財産への振替額	△ 32,798	△ 5,711
当期指定正味財産増減額	292,041	215,356
III 正味財産期末残高	2,396,300	306,622

IV

理事・監事・評議員

理 事 長	柄澤 康喜	(三井住友海上特別顧問)
専務理事	塩崎 一馬	(常勤)
理 事	大内 尉義	(虎の門病院名誉院長)
理 事	小川 武希	(東京慈恵会医科大学名誉教授)
理 事	河北 博文	(河北総合病院理事長)
理 事	児玉 桂子	(日本社会事業大学名誉教授)
理 事	鈴木 春男	(千葉大学名誉教授)
監 事	高橋 勉	(公認会計士)
監 事	野田 智意	(三井住友海上執行役員経理部長)
評 議 員	安藤 公	(三井住友海上総務部長)
評 議 員	岩本 俊彦	(東京医科大学名誉教授)
評 議 員	江頭 敏明	(三井住友海上名誉顧問)
評 議 員	大泉 博子	(元衆議院議員、元国際医療福祉大学客員教授)
評 議 員	太田 宏	(元読売新聞大阪本社代表取締役社長)
評 議 員	鎌原 俊二	(日本文化大學学長)
評 議 員	関口 和夫	(元三井住友海上理事総務部長)
評 議 員	高田 邦道	(日本大学名誉教授)
評 議 員	村上 仁志	(三井住友信託銀行名誉顧問)
評 議 員	矢野 薫	(元日本電気取締役会長)

(五十音順 専務理事のみ常勤 令和8年7月1日現在)

資料

I. 「公益財団法人 三井住友海上福祉財団」の概要

1. 設立年月日 昭和50年9月1日

2. 設立経緯

当財団は、住友海上火災保険株式会社が昭和48年に創業80年を迎えたことを記念して、翌年任意団体「住友海上福祉会」として発足。昭和50年9月に総理府（当時）から許可を得て、正式に「財団法人 住友海上福祉財団」として事業を開始した。その後、平成13年10月1日に母体企業の住友海上火災保険株式会社が三井海上火災保険株式会社と合併したことに伴い、財団名を「財団法人 三井住友海上福祉財団」に改称した。そして新しい公益法人制度の下、平成21年12月1日に「公益財団法人 三井住友海上福祉財団」に移行した。

3. 基本財産 23億424万円（令和8年3月31日現在）

4. 主務官庁 内閣府

5. 助成事業の変遷

設立の当初は、損害保険事業と関連の深い活動、例えば交通事故で遺された遺児や防災活動で殉職された消防士の遺族などへの援護活動が中心であった。

昭和50年代後半に入り、交通安全運動の普及や啓発活動への助成、それに病院への救急医療機器などの施設助成にも力を注いできた。

そして、当財団創立15周年を機に、平成3年からわが国の高齢化社会に対応し、新たに高齢者福祉分野への助成も事業目的に加え、更にそれまでの援護や施設助成を中心とした活動から研究助成に重心を移すなど、時代の変化に伴いその事業領域を広げてきた。

今では「交通事故・各種災害の防止等」と「高齢者福祉」の両分野において、研究助成、施設助成、著作・論文表彰などその事業領域は多岐にわたっている。

これらの結果、令和8年3月末における当財団設立以来の助成累計は2,428件、累計金額は27億811万円に達している。

6. オフィシャルサイト

URL:<https://www.ms-ins.com/welfare/>



公式 web サイト

Ⅱ．助成実績の推移＜昭和50(1975)年度～令和 7 (2025)年度＞

(付帯費を除く。単位：件、万円)

分野 年度	交通事故・各種災害の防止等				高齢者福祉				合 計				全助成に占める 研究助成の割合	
	研究助成		全助成		研究助成		全助成		研究助成		全助成			
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
S50(1975)	2	400	6	800					2	400	6	800	33.3%	50.0%
S51(1976)	1	300	14	1,780					1	300	14	1,780	7.1%	16.9%
S52(1977)	1	100	28	3,210					1	100	28	3,210	3.6%	3.1%
S53(1978)	1	100	31	3,598					1	100	31	3,598	3.2%	2.8%
S54(1979)	3	730	29	4,000					3	730	29	4,000	10.3%	18.3%
S55(1980)	5	1,296	33	5,176					5	1,296	33	5,176	15.2%	25.0%
S56(1981)	6	1,657	38	6,106					6	1,657	38	6,106	15.8%	27.1%
S57(1982)	1	300	39	6,552					1	300	39	6,552	2.6%	4.6%
S58(1983)	2	600	37	6,742					2	600	37	6,742	5.4%	8.9%
S59(1984)	4	1,000	42	7,052					4	1,000	42	7,052	9.5%	14.2%
S60(1985)	2	450	39	6,462					2	450	39	6,462	5.1%	7.0%
S61(1986)	2	580	40	5,952					2	580	40	5,952	5.0%	9.7%
S62(1987)	3	450	38	5,387					3	450	38	5,387	7.9%	8.4%
S63(1988)	6	950	40	5,577					6	950	40	5,577	15.0%	17.0%
H1(1989)	4	800	37	5,217					4	800	37	5,217	10.8%	15.3%
H2(1990)	6	1,400	34	5,617					6	1,400	34	5,617	17.6%	24.9%
H3(1991)	2	550	27	4,650	1	200	28	3,067	3	750	55	7,717	5.5%	9.7%
H4(1992)	6	1,930	27	4,613	4	450	41	5,070	10	2,380	68	9,683	14.7%	24.6%
H5(1993)	22	3,570	38	5,715	13	1,880	42	4,788	35	5,450	80	10,503	43.8%	51.9%
H6(1994)	20	3,521	30	4,539	22	4,283	38	5,433	42	7,804	68	9,972	61.8%	78.3%
H7(1995)	17	3,030	26	3,820	16	3,130	20	3,619	33	6,160	46	7,439	71.7%	82.8%
H8(1996)	16	2,390	25	3,174	20	3,070	27	3,940	36	5,460	52	7,114	69.2%	76.8%
H9(1997)	17	2,380	26	3,098	19	2,955	29	3,805	36	5,335	55	6,903	65.5%	77.3%
H10(1998)	17	2,340	27	3,133	17	2,695	26	3,545	34	5,035	53	6,678	64.2%	75.4%
H11(1999)	12	1,870	21	2,566	18	2,750	25	3,350	30	4,620	46	5,916	65.2%	78.1%
H12(2000)	16	2,175	24	2,737	15	2,430	22	3,030	31	4,605	46	5,767	67.4%	79.9%
H13(2001)	16	1,625	22	1,977	22	2,730	31	3,280	38	4,355	53	5,257	71.7%	82.8%
H14(2002)	15	1,530	21	1,882	23	2,615	40	3,486	38	4,145	61	5,368	62.3%	77.2%
H15(2003)	20	1,880	29	2,322	21	2,710	33	3,450	41	4,590	62	5,772	66.1%	79.5%
H16(2004)	13	1,130	19	1,462	26	2,480	35	3,010	39	3,610	54	4,472	72.2%	80.7%
H17(2005)	14	1,225	23	1,637	32	2,240	46	2,930	46	3,465	69	4,567	66.7%	75.9%
H18(2006)	14	1,117	20	1,451	25	2,384	35	2,914	39	3,501	55	4,365	70.9%	80.2%
H19(2007)	18	1,337	24	1,621	33	2,612	40	3,190	51	3,949	64	4,811	79.7%	82.1%
H20(2008)	17	1,042	23	1,330	30	3,040	37	3,644	47	4,082	60	4,974	78.3%	82.1%
H21(2009)	19	1,250	25	1,533	31	2,729	39	3,286	50	3,979	64	4,819	78.1%	82.6%
H22(2010)	15	947	21	1,211	25	2,542	28	2,772	40	3,489	49	3,983	81.6%	87.6%
H23(2011)	13	876	18	1,038	29	2,676	31	2,736	42	3,552	49	3,774	85.7%	94.1%
H24(2012)	13	941	18	1,056	27	2,747	30	2,966	40	3,688	48	4,022	83.3%	91.7%
H25(2013)	13	918	19	1,055	28	2,820	31	3,010	41	3,738	50	4,065	82.0%	92.0%
H26(2014)	13	986	17	1,084	28	2,763	30	2,951	41	3,749	47	4,035	87.2%	92.9%
H27(2015)	13	923	18	1,123	28	2,812	32	3,212	41	3,735	50	4,335	82.0%	86.2%
H28(2016)	14	1,024	19	1,149	23	2,592	27	2,889	37	3,616	46	4,038	80.4%	89.5%
H29(2017)	16	1,210	22	1,384	24	2,701	30	3,215	40	3,911	52	4,599	76.9%	85.0%
H30(2018)	17	1,167	21	1,262	25	2,661	30	3,019	42	3,828	51	4,282	82.4%	89.4%
R1(2019)	15	1,124	19	1,220	25	2,416	28	2,715	40	3,540	47	3,935	85.1%	90.0%
R2(2020)	17	1,217	21	1,316	28	2,764	31	2,924	45	3,981	52	4,240	86.5%	93.9%
R3(2021)	16	1,320	21	1,429	22	2,366	24	2,426	38	3,686	45	3,854	84.4%	95.6%
R4(2022)	16	1,409	21	1,517	23	2,535	25	2,685	39	3,944	46	4,202	84.8%	93.9%
R5(2023)	19	1,466	23	1,545	24	2,590	29	2,988	43	4,056	52	4,532	82.7%	89.5%
R6(2024)	19	1,667	25	1,820	25	3,495	28	3,655	44	5,162	53	5,475	83.0%	94.3%
R7(2025)	20	1,907	28	2,260	23	3,575	27	3,855	43	5,482	55	6,115	78.2%	89.6%
累計	589	66,107	1,333	153,957	795	91,438	1,095	116,855	1,384	157,545	2,428	270,811	57.0%	58.2%

(注)「全助成」は、「研究助成」に「著作・論文表彰」、「普及・啓発助成」、「施設・事業助成」等を加えたものである。

専務理事・事務局長 塩崎 一馬
事務局長 友竹 明彦
西田 裕美

一年のあゆみ
－令和7年度 年報－

発行者 公益財団法人 三井住友海上福祉財団
〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台3-9
TEL (03) 3259-1609
e-mail : msi_fukushi@ms-ins.net
URL : <https://www.ms-ins.com/welfare/>
発行責任者 塩崎 一馬
発行日 令和8年7月
